

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	敬愛大学	学部・学科名 ※	経済・国際・教育学部
科目名 ※	統計学 I	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	水曜・1限
キャンパス※	稲毛キャンパス	教室※	—
学修分野			
授業目的 ※	データの要約の実用性の高い知識を効率よく学習する。		
到達目標	到達目標:記述統計の様々なアイデアを人に説明できるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	データの種類/平均, 中央値, 最頻値/分散, 標準偏差/標準化, 変動係数/範囲と四分位数, 度数分布表とヒストグラム/ローレンツ曲線とジニ係数/共分散と相関係数/偏相関係数/回帰直線/リスク比/オッズ比/時系列データ, 幾何平均/移動平均と変動分解/自己相関係数 授業は前半に講義し, 後半に演習を行う。演習はmoodleで実施する。		
評価方法 ※	演習70%, 期末試験30%		
評価基準			
テキスト	統計学 オンデマンド (ペーパーバック) - 2023/1/13 吉田 直広 (著)		
注意事項			
授業シラバス	本学ポータルサイト「Keiai Campus Navigator」で確認すること。 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/ トップ画面の「シラバス照会」から検索する。		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	東京情報大学	学部・学科名 ※	総合情報学部・総合情報学科
科目名 ※	ソフトウェア工学 a	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	水曜・1限
キャンパス※	東京情報大学	教室※	303
学修分野			
授業目的 ※	ソフトウェア工学の基本的な考え方と知識を体系的に学び、「安心・安全」なソフトウェアを設計・作成・保守する力を強化することを目的とする。ソフトウェア開発プロセス、ソフトウェアライフサイクル、プロセスの標準化、要求分析からテスト工程・保守まで一貫した流れを学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア開発におけるソフトウェア工学の役割を理解する ・ソフトウェアの性質、開発の課題を理解する ・ソフトウェア開発プロセス・ライフサイクル・モデルを理解する ・基本的なソフトウェア開発のモデルとしてウォーターフォール型開発について理解する <p>(総合的な学習経験と創造的思考力) (知識・理解)</p>		
授業内容 授業形態 ※	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ソフトウェア工学の目的と発展史 3. ソフトウェアの開発方式 4. 要求分析と要求仕様書 5. 外部設計と外部仕様書 6. 内部設計と内部仕様書 7. 製造と試験 8. 要求分析の技法 9. 設計の技法 10. 製造の技法 11. オブジェクト指向設計 1 12. オブジェクト指向設計 2 13. オブジェクト指向設計 3 14. 総合演習 15. 総まとめ <p>講義形式で実施するが、必要に応じて演習課題を課す。</p>		
評価方法 ※	<p>課題 講義中に必要に応じて課す課題</p> <p>レポート 2回のレポート課題</p> <p>平常試験 筆記および実技形式による試験を実施する。</p>		
評価基準	課題20%、レポート10%、平常試験70%		

テキスト	
注意事項	
授業シラバス	シラバス検索ページ https://j-port.tuis.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006 ※開講年度学期（2023前期）、授業科目「ソフトウェア工学 a」で検索

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
科目名 ※	スポーツ生理学	単位数 ※	2単位
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	水曜日3限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	6-205
学修分野			
授業目的 ※	身体の仕組みや身体の機能について理解する生理学の中でも、スポーツを行った際の身体の変化や機能について理解する分野がスポーツ生理学です。		
到達目標	この授業では、「スポーツを実践する際の身体の変化や身体の仕組みについて、運動・スポーツ指導者として必要なスポーツ生理学的知識」を身に付けてもらうことを目指します。また、各自の健康づくりおよびスポーツパフォーマンス向上のプログラム作成のための基礎知識習得を目指します。		
授業内容 授業形態 ※	原則として各回ごとにテーマを設定して講義を行います。 また興味のあるテーマやキーワードについてグループワークを実施、またはグループごとに発表なども実施します。 スポーツに対する様々な身体の生理的な反応や適応についての機序を学びます。 トレーニングプログラムは、持久力や筋力の向上および効果的なダイエットや健康の維持・増進など、様々な目的に応じて作成されます。スポーツ生理学では、適切なトレーニングプログラムを作成するための基礎になる知識について学びます。		
評価方法 ※	定期試験70%、授業内での小テストおよびレポート課題などの平常点30%		
評価基準			
テキスト	適宜プリントを配布する予定です。		
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	教育英文法基礎B	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	水 5
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>本講義は、中学校・高校の教員を志す学生を対象とした授業であり、基本的な文法項目や文法用語を学ぶだけでなく、様々な活動を通じて振り返ることで、効果的な指導も考えていく。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校の英語の授業に必要な基本的な文法の形式、意味、使用を理解する。 ・目標文法事項を演繹的かつ帰納的に指導できる。 ・自身の文法学習観や文法教育観を自覚した上で、異なる指導法や活動のメリットおよびデメリットを理解できる。 ・必要に応じて日本語の知識を英文法学習に活用できる。 <p><授業形態></p> <p>協調・協働を重視する。毎回の授業で、前回授業の内容の復習ディスカッションから始め、そこから新しい内容の授業を始める。学習者として様々な活動に取り組み振り返る。</p>		
到達目標			
授業内容	<p>第1回☒法とコミュニケーション、品詞、5文型</p> <p>第2回☒esent continuous vs present simple</p> <p>第3回☒ast simple, Past continious</p> <p>第4回☒esent perfect and past</p> <p>第5回☒ast perfect & Past perfect continuous</p> <p>第6回☒odal auxiliaries (1)</p> <p>第7回☒odal auxiliaries (2)</p> <p>第8回☒onditional setences</p> <p>第9回☒he Passive voice</p> <p>第10回☒erunds and infinitives</p> <p>第11回☒articles (1)</p> <p>第12回☒articles (2)</p> <p>第13回☒relative caluses</p> <p>第14回☒擬授業</p> <p>第15回☒擬授業</p>		
授業形態	対面		

評価方法 ※	文法学習史 (15%)、 lesson reflections (15%)、 中間テスト (20%)、 模擬授業 (20%)、 レポート (30%)
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項